

令和 8 年度 第 1 回 雲南広域連合介護保険事業計画審議会 会議録要旨

1. 開催概要

日時：令和 8 年 8 月 6 日（木） 午後 3 時～午後 4 時 30 分

場所：雲南広域連合 3 階 大会議室

出席者：審議会委員：15 名（欠席 1 名）

事務局：雲南広域連合（連合長、事務局長、事務局次長 ほか）、関係市町担当課長 ほか

目的：「雲南地域 第 10 期介護保険事業計画（令和 9 年度～11 年度）」の策定に向けた諮問、策定方針・骨子案の審議、および現状の課題共有。

2. 選任結果

委員の互選により、以下の通り会長および副会長が選任された。

会長：川本 委員（雲南市医師会 会長）

副会長：大場 委員（雲南市社会福祉協議会 会長）

3. 議事の要旨

(1)会議の非公開

事務局より、これまで雲南広域連合介護保険事業計画審議会は非公開としていた経過がある。審議の中で事業者の方々の関わる具体的な固有名詞が協議される場面もあること等から、今後の審議会についても同様に非公開とする提案がなされ、了承された。

(2)第 10 期計画の策定方針および骨子案の承認

事務局より、令和 9 年度から令和 11 年度までを期間とする次期計画の策定方針案および骨子案が示された。「地域包括ケアシステムの進化」や「サービス提供体制の確保」を基本目標に据える方針が審議され、原案通り了承された。

(3)在宅介護実態調査および日常生活ニーズ調査の結果報告

令和 7 年度に実施した基礎調査結果の速報値が報告された。

世帯状況：独居・夫婦のみの「高齢者のみ世帯」が 5 割を超え、増加傾向にある。

介護負担：就労しながら介護を行う層において「負担感がある」との回答が増加している。

社会参加：男性の地域活動への参加意欲は一定数あるものの、企画・運営等の「役割」を担うことへの意欲は低い。

費用意識：「高くてもサービスが充実している方が良い」とする意見が、前回調査時より増加した。

(4)雲南地域の介護保険を巡る現状

高齢化率：2050年には50.8%に達すると推計。

介護流出：圏域外（出雲・松江等）の高齢者住宅整備が進んだ影響等により、被保険者の圏域外サービス利用（給付費の流出）が微増傾向にある。

認定率：調整済認定率は15.9%と、島根県平均（18.7%）を下回る水準で推移している。

4. 委員からの主な意見・提言

介護流出の分析：施設不足によるものか、家族の呼び寄せによるものか、流出の背景を精査し、域内の基盤整備の必要性を検討すべき。

医療・介護連携：入院を契機とした圏域外流出を防ぐため、地域病院と介護施設間の入退院連携（ホットライン等）を強化する施策を盛り込むべき。

住民の意識啓発：2040年を見据え、ACP（人生会議）等を通じて「サービスを受ける側の住民の覚悟」や国民的議論を呼び起こす視点が重要。

災害対策：福祉避難所の登録実態や災害時の要配慮者支援について、計画内での位置づけを明確にすべき。